

2024年度 事業報告

2025年3月31日現在

公益財団法人 佐倉国際交流基金

2024年度 事業報告書

公益財団法人 佐倉国際交流基金

事業の実施状況

1. 国際相互理解推進事業〔公益目的事業 1〕

1) 公開講座（佐倉市と共催、3回実施）

公開講座1 「岐路に立つ中国の行方-日本はどのように中国と付き合うべきか-」

公益財団法人 東京財団政策研究所 主席研究員 柯 隆氏

日 時：6月22日（土）13時30分～15時30分

場 所：志津コミュニティーセンター

参加者：一般182名、文大生91名、事務局20名の合計293名

公開講座2 「拡大する政府債務-経済破綻を回避するには」

関東学院大学 経済学部教授 島澤 諭氏

日 時：9月14日（土）13時30分～15時30分

場 所：佐倉ハーモニーホール（市民音楽ホール）

参加者：一般85名、文大生83名、事務局20名の合計188名

公開講座3 「日本のイノベーションの再構築

」

一橋大学 イノベーション研究センター教授 江藤 学氏

日 時：10月20日（日）13時30分～15時30分

場 所：志津コミュニティセンター

参加者：一般67名、文大生81名、事務局18名の合計166名

2) 佐倉市国際文化大学

開講式は5月12日(日)、修了式は11月30日(土)、

土曜、日曜において全22回(内公開講座3回)予定通り実施した。

2024年度 佐倉市国際文化大学 講義日程表

回数	講義日	時間	講義内容	講師	教場
1	開講式	12時30分	開講式	大学事務局	中央公民館
	5月12日(日)講座	13時15分	ウクライナ戦争の背景：経済関係と地政学	一橋大学経済研究所ロシア研究センター 教授 菅 和広	
	オリエンテーション	15時30分	オリエンテーション	大学事務局	
2	5月18日(土)	13時30分	江戸の志ん朝 上方の枝雀	横浜にざわい座館長・チーフプロデューサー 演芸評論家 布目 英一	中央公民館
3	5月25日(土)	14時30分	ODAの新たな役割ー 「開発協力大綱」の改定をめぐってー	公益財団法人笹川平和財団 安全保障グループ上席研究員 西田 一平太	中央公民館
4	6月 8日(土)	13時30分	外国人材を受容する社会	公益財団法人日本国際交流センター 執行理事 毛受 敏浩	白井公民館
5	6月15日(土)	13時30分	新たなエネルギー情勢と日本への示唆	一般財団法人日本エネルギー経済研究所 常務理事 山下 ゆかり	中央公民館
6	6月22日(土) 公開講座	13時30分	枝路に立つ中国の行方ー 日本はどのように中国と付き合うべきか	公益財団法人東京財団政策研究所 主席研究員 柯 陸	志津コミセン
7	6月30日(日)	13時30分	日本経済の新たな挑戦 ーヒトやデジタルへの投資による活性化ー	学習院大学経済学部 教授 宮川 努	中央公民館
8	7月 6日(土)	13時30分	AIの進化と経済社会	駒澤大学経済学部 准教授 井上 智洋	白井公民館
9	7月13日(土)	13時30分	あらためて「哲学 ことはじめ」	早稲田大学 講師 公益財団法人日独文化研究所 所属 関口 浩	白井公民館
10	7月20日(土)	13時30分	江戸の音曲(三味線音楽)の楽しみ方	落語芸術協会 真打 音曲師 三代目桂小文治門下 桂 小すみ	中央公民館
11	7月28日(日)	13時30分	狩野山雪 奇想を楽しむ ー日本人の風雅心ー	多摩美術大学美術学部 教授 小川 敦生	中央公民館
12	9月 1日(日)	13時30分	重要度を増す経済安全保障	東京大学大学院法学政治学研究所 教授 中谷 和弘	白井公民館
13	9月 7日(土)	13時30分	教養としての日本人論	文筆家 東洋哲学・宗教学者 瓜生 中	白井公民館
14	9月14日(土) 公開講座	13時30分	拡大する政府債務 ー経済破綻を回避するにはー	関東学院大学経済学部 教授 島澤 諭	志津コミセン
15	9月21日(土)	13時30分	シンガポールの政治状況、 「開かれた社会」への道程	アジア経済研究所開発研究センター 企業産業グループ 副主任研究員 久末 亮一	中央公民館
16	9月29日(日)	13時30分	私の音楽文化論 ー心に刻まれた旋律、音楽と生きることー	東京混声合唱団 参与、元佐倉フィル指揮者、 村上 満志	中央公民館
17	10月 5日(土)	13時30分	「ジェネレーション・フリー」な社会 ー北欧型社会に学ぶー	明治大学 名誉教授 元商学部教授 北岡 孝義	白井公民館
18	10月20日(日) 公開講座	13時30分	日本のイノベーション力の再構築	一橋大学イノベーション研究センター 教授 江藤 学	志津コミセン
19	10月27日(日)	13時30分	日本の「食」が危ない 私たちの未来は守れるか	東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授 (一財)食糧安全保障推進財団 代表理事 鈴木 宣弘	中央公民館
20	11月 9日(土)	13時30分	人口問題を再考する ー少子高齢化社会の実像をさぐるー	中央大学経済学部 准教授 松浦 司	志津コミセン
21	11月17日(日)	10時00分	ゼミ自由研究成果発表会	ゼミ研究グループ	志津コミセン
22	11月30日(土)講座	13時30分	老化を科学的にチェックする	東京大学 名誉教授、京都先端科学大学総合研究所 特任教授 石浦 章一	中央公民館
	修了式	15時45分	修了式	大学事務局	

注：講師の都合等により変更もありえます。

3) 佐倉国際スピーチコンテスト(佐倉市と共催・佐倉市教育委員会後援)

10月20日(日)、ミレニアムセンター佐倉において開催。

10時開始、午後4時終了、午前を小学生以下、午後を中学生以上として実施。参加者は小学生以下23組、24名、中学生以上18組、23名であった。

発表内容、結果などについての審査員からのコメント、それに対して日本語でも通訳し、出席者から好評であった。また、審査結果発表までの時間を利用して、英語クイズなどで楽しんだ。

4) イングリッシュサロン

ファシリテーター(進行役外国人)2名により、今期は水曜日、金曜日に開催。計画通り5月に開始。各クラスの定員はいずれも11名。参加者は合計87名であった。

クラス運営委員は、毎月の教室準備、出欠記録をはじめ、定期的に行われる運営委員会に出席し、クラス間の調整や、各種課題に取り組んだ。

2024年度もクリスマス懇親会を実施し、参加者が楽しめるようなゲームなどで、会員相互の親睦をはかることができた。

2. 国際交流活動支援事業[応募申請型] [公益目的事業 2]

国際交流親善・多文化共生の啓発に寄与すると判断される団体・グループ等の活動支援である。

下記2件の申し込みがあり、助成金交付規則に基づき、財政支援をした。

日蘭協会

オランダ料理講習会 12月8日

オランダ人講師を招いて、会員、一般を対象にオランダ料理の講習と懇親、26名参加

臼井ブルージェイズ(小学生男女ソフトボールチーム)

「臼井ブルージェイズ」とシンガポールのソフトボールチーム「イーグルファイブ」の国際交流親善試合および歓迎親睦会を実施。12月7, 8日

3. 外国人支援事業（佐倉市国際化推進事業受託）〔公益目的事業 3〕

1) 外国人のための日本語講座

原則として佐倉市内に住む外国人に対して、日本語の日常会話力（入門・初級・中級）の涵養、及び日本人とコミュニケーションする場の提供、そして外国人の児童・生徒のための日本語学習を行う。

成人向けクラス(10クラス)

- ・毎週木曜日（午前・午後 合計3クラス）
*午前クラスはベビーシッター制度あり
会場：志津コミュニティセンター
- ・毎週金曜日（夜間 1クラス）
会場：ミレニアムセンター佐倉
- ・隔週土曜日(午前 1クラス)
会場：ミレニアムセンター佐倉
- ・1、2、3土曜日(午前 1クラス) 9月開講
会場：根郷公民館
- ・毎週日曜日(午前 合計4クラス)
会場：中央公民館

小中学生向けクラス(3クラス)

- ・毎週水曜日(午後 合計1クラス)
会場：志津公民館
- ・毎週土曜日(午前 合計2クラス)
会場：千代田・染井野ふれあいセンター
会場：根郷公民館

学習者はアフガニスタン人が全体の6割程度を占め、ベトナム、スリランカ、中国からの参加者も増えてきた。

延べ学習者数					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
人数	822	1421	2222	2695	3237

○教室見学

2024年5月から6月にかけて、東邦大学健康科学部看護学科の4年生6名が授業見学。外国人との交流を実体験したいとのことで志津公民館および、志津コミュニティーセンターの日本語教室を訪れた。

実習終了後、参加学生からの礼状、感想文などが寄せられ、今後の看護活動に資する体験であったとのこと。

○新規講座開講

女性の中には宗教、習慣などの理由で、男性との同席を避けることから、9月より根郷公民館において「外国人女性の為の日本語講座」を開講した。毎週土曜日、月3回のスケジュールで6ヶ月間実施した。継続希望もあり、次年度も実施するかを検討する。

○日本語講座のつどい

11月17日(日)、「日本語講座のつどい」を中央公民館大ホールで開催した。スピーチは7件、パフォーマンスは8件であった。参加者はボランティアを含め125名であった。

○特別講演

2025年2月3日(月)「アフガニスタン人への支援のあり方」と題して、特定非営利活動法人イーグル・アフガン復興協会 理事長、江藤セデカ氏の講演を実施した。

約2時間の講演、参加者は日本語のボランティア講師を中心に、約40名が参加した。

2) 外国人のための生活相談

英語、スペイン語、中国語、ペルシャ語、ダリー語の相談員、合計5名と交流基金事務局員3名により、電話及び面接による相談を受けるとともに、学校や病院での通訳、あるいは子育て支援、文書の翻訳などの外国人支援活動を実施している。

相談のみならず、佐倉市担当部課と協力して外国人への直接支援活動も行っている。

相談員交流会議を毎月実施、予定通り4月より開始した。

① 支援活動報告

② 佐倉市のおしらせ記事選択、編集、発行

③ 生活相談員のための講習、学習会 今期のテーマは「コミュニティ通訳」

相談・支援件数：118件

内容別件数：日本語（78）、子供（15）、医療・保健（17）、日常生活（7）、その他（1）

言語別件数：日本語（71）、英語（35）、スペイン語（3）、中国語（5）
ダリー語（4）

（注）1案件に複数の相談内容がある場合、件数に差異がある。

主な生活相談・支援 (支援した外国人の国名)

- 4月 日本語学習問い合わせ(アフガニスタン2、フィリピン2、中国、スリランカ各1)
病院での通訳(アフガニスタン2)、学校と保護者間の通訳(ウガンダ、アフガニスタン各1)
日常生活(アフガニスタン1)
- 5月 日本語学習の相談(タイ、中国各2、アフガニスタン、インドネシア、パキスタン各1)、不明1
病院での通訳(アフガニスタン3)、学校と保護者間の通訳(中国、ネパール各1)
その他(ネパール1)
- 6月 日本語学習の相談(アフガニスタン4、タンザニア2、中国1、アメリカ1、フィリピン1、スリランカ1、
ロシア1、不明1)
日常生活(アフガニスタン1、中国1、スペイン語圏1)、医療(アフガニスタン2)
保育園での通訳(ウガンダ1、ナイジェリア1)
- 7月 日本語学習問い合わせ(中国2、スリランカ、フィリピン、ネパール、不明各1)
保育園での通訳(ナイジェリア1)
- 8月 日本語学習問い合わせ(アメリカ、アフガニスタン各1)
日常生活(フィリピン1)
- 9月 日本語学習問い合わせ(中国2、不明1)
- 10月 日本語学習問い合わせ(タンザニア2、アフガニスタン1、スリランカ1)
ペルシャ語への翻訳(日本1)
- 11月 日本語学習問い合わせ(アフガニスタン4、中国3、ウズベキスタン・韓国各1)
保育園での通訳(アフガニスタン1)
- 12月 日本語学習問い合わせ(アフガニスタン2、中国、インドネシア、パキスタン、米国、各1)
保育園での通訳(ウガンダ1)、3歳児検診(アフガニスタン1)、小学校での通訳(パキスタン1)
- 1月 日本語学習問い合わせ(中国2、アフガニスタン、インドネシア、パキスタン、イラン各1)
保育園、学校での通訳(アフガニスタン、ウガンダ、中国各1)、
- 2月 日本語学習問い合わせ(アフガニスタン2、ベトナム2、カナダ1)
医療(シエラレオネ2、パキスタン1)
保育園での通訳(カメルーン1)
- 3月 日本語学習問い合わせ(アフガニスタン4、中国3、インドネシア2、インド、スリランカ、パキスタン各1)
保育園での通訳(カメルーン1)、医療(アフガニスタン1、パキスタン1)、市役所同行(ペルー1)

3) ウクライナ避難民支援

ウクライナ避難民支援として、生活ガイド等を備置している。今年度の支援要請はなかった。

上記、生活相談に加え、情報発信を強化するために「こうほう佐倉」を情報ベースに「佐倉市のおしらせ」を1回/月のペースで発刊している。

これは、やさしい日本語を用い、外国人にもわかりやすい内容で、広報課から各公民館などにも配布されている。2024年度は累積55号まで発行した。

4. その他

1) 機関誌の発行

基金レターズを発行(7月および12月に発行)、事業の実施状況、賛助会員ボランティアの活動などについて紹介した。

2024年7月発行

主な記事

多文化共生

日本語講座 ボランティア交流会と研修会

イングリッシュサロン講師のメッセージ

佐倉市国際文化大学ボランティア活動状況

スピーチコンテスト出場者募集

国立歴史民俗博物館、DIC川村記念美術館の催し物紹介

2023年度事業報告・収支報告

2024年12月発行

主な記事

第35回スピーチコンテストの実施報告

第6回日本語講座のつどい結果報告

女性のための日本語講座

佐倉市国際文化大学

イングリッシュサロンクリスマス交流会

国立歴史民俗博物館、DIC川村記念美術館の催し物紹介

2) ホームページの活用

基金ホームページを使って当基金の事業概要・行事・その他財務状況などを、掲載し公告の一助とした。

ホームページアドレス：<http://www.sief.jp>

3) 賛助会員の強化を図り、2024年度末数字として会員数281となった。

<参考資料>

1. 賛助会員数

賛助会員総数	281
個人	264
団体	6
法人	9
学生	0
外国人	2

(2024年度)

賛助会員数 合計	257
個人	238
団体	6
法人	11
学生	0
外国人	2

(2023年度)

2. ボランティアバンク登録者

直近3年間 言語ボランティア登録者

年度	2022	2023	2024	合計
日本語	10	19	21	50
英語	5	14	6	25
スペイン		2	2	4
ポルトガル		1		1
中国			1	1
フランス	1			1
インドネシア		1	1	2
ロシア				0
タイ				0
スウェーデン				0
ドイツ				0
韓国			1	1
タガログ				0
イタリア				0
スリランカ				0
他	3			3
計	19	37	32	88

直近3年間 業種ボランティア登録者

年度	2022	2023	2024	合計
ホームステイ ビジット	2	1	1	4
イベント手伝い	5	5	3	13
ベビーシッター	4	4	7	15
車	3	3		6
その他	2	4	2	8
計	16	17	13	46

(注) 1案件に複数の登録内容がある場合、合計と案件の計が違ってきます。

3. 役員、評議員に関する事項

役員（理事・監事）（2025年3月31日現在・敬称略）

役員名	氏名
理事長	東城 孝
副理事長	立田 正人
常務理事	安藤 忠男
理事	寺嶋 康美
理事	金子 京子
理事	今村 公蔵

理事	高橋 満
理事	橘 正明
理事	山岡 みち代
監事	松井 駿介
監事	牧 俊紀

評議員 (2025年3月31日現在・敬称略)

	氏 名
評議員	岡村 美智子
評議員	西谷 大
評議員	土屋 庄一郎
評議員	長谷川 稔
評議員	藤崎 言行
評議員	渡邊 圭蔵
評議員	深山 民夫

任期：理事、監事は2025年の評議員会まで
評議員は2027年の評議員会まで

役員会等

☆監査、理事会、評議員会

4月18日 2023年度会計監査

5月15日 第1回定期理事会

- 1号議案 2023年度事業報告
- 2号議案 2023年度決算報告
監事より監査結果の報告
- 3号議案 2024年度助成金交付
- 4号議案 2024年度評議員会開催
- 5号議案 評議員選定委員および評議員について

報告事項 業務執行理事の業務報告

6月6日 定時評議員会

- 1号議案 2023年度事業報告
- 2号議案 2023年度決算報告
監事より監査結果の報告

報告事項 2024年度事業計画、事業予算
2024年度助成金交付

2025年3月12日 第2回定期理事会

- 1号議案 2025年度事業計画
- 2号議案 2025年度予算
- 3号議案 2025年度資金調達及び設備投資について

報告事項 業務執行理事の業務報告

☆三役会

5月10日第1回三役会

第一回定期理事会議事、決議事項と報告事項など
助成金交付：2023年度は応募者なし、24年度は現在募集中
新評議員選定委員候補について

7月17日 第2回三役会

事業進捗状況報告
市民公益活動発表会(12月1日開催)への参加
文大の受講者数確保の方策について

9月11日 第3回三役会

事業進捗状況報告
スピーチコンテスト応募状況など

11月20日 第4回三役会

事業進捗状況報告、スピーチコンテスト実施結果
決算見通し、資金推移など

2025年2月20日 第5回三役会

千葉県監査の報告
2024年度見通し、2025年の事業計画と予算
今後の予定ほか

☆特記事項

2025年1月21日 千葉県監査

2020年監査時の指摘事項はすべて処置できており、また必要な書類は整備されているとのこと。

市民公益活動発表会(12月1日(日)、志津コミュニティセンターにて開催)へ参加

4. 契約に関する事項

契約締結年月日	相手方	締結の内容	契約金額
2024年4月1日	佐倉市	佐倉市国際化推進事業	2,811,000円
2024年4月1日	佐倉市	佐倉市に避難してきたウクライナ 避難民の生活支援	生活支援 3300～ 3500円/時間 発生時費用請求
2024年7月1日	佐倉市	外国人女性のための日本語講座	288,600円

5. 寄附金、協賛金等

協賛金ご協力者 (敬称略)

氏名	金額	協賛いただいた事業
岡村美智子様	10,000円	佐倉国際スピーチコンテスト
佐倉ライオンズクラブ	20,000円	佐倉国際スピーチコンテスト
佐倉ロータリークラブ	10,000円	佐倉国際スピーチコンテスト
DIC 川村記念美術館	10,000円	佐倉国際スピーチコンテスト

協賛金は「佐倉国際スピーチコンテスト」の収益とした。

6. 公益法人としての諸手続き

6月7日 公益法人定期提出書類
評議員変更電子申請

6月21日 公益法人定期提出書類
2023年度事業報告、決算報告などの電子申請

2025年3月19日 公益法人定期提出書類
2025年度事業計画、予算などの電子申請

以上